

<b>安城市</b>	所属議員	守口晶治、稲垣退三、辻山秀文
------------	------	----------------

産業目線

【活動選定項目】	①カーボンニュートラル(CN)への対応	
<b>具体的取り組み 到達目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内における電気自動車等の普及を図るため、集合住宅（マンション・アパート等）に設置する充電インフラ整備に対して'22年度までに補助金を確立させる。</li> <li>・'25年までに公用車の電動化率20%及び老朽化した充電ステーションの更新・整備を加速させる。</li> </ul>	
前回まで 活動状況	'22年2月2日、令和4年度に向けた政策要望の回答を受領。 ⇒令和4年度予算に盛り込み（カーボンニュートラルの推進、資源循環とごみ減量の推進） '22年3月4日、3月定例会の代表質問にて、「脱炭素化」に向け、これまで・これからの取り組みについて質問。	
<b>今回 具体的活動</b>	<p><b>先進地の視察</b></p> <p>4月27日、豊田市「とよた ecoful town」に行政視察を実施（岡田市議も同行）                      市民、地域、企業、大学等、さまざまなものがつながり、それぞれの魅力を活かし合って豊かなまちをつくる。持続可能な「豊かな暮らし」を目指す豊田市は、10年先、50年先を見据えた新たな取り組みに注力し、その事例を体感できる施設。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スマートハウス」：家庭で使用するエネルギーを創る・蓄える・節約する3つの視点で、環境面・コスト面等を常に最適な状態に制御する「かしこい家」</li> <li>・「モビリティ」：環境負荷の軽減を目指し多様な移動手段を提案、総合的な交通への取り組み</li> </ul> <p>※パーソナルモビリティ：人の移動を助け、生活をもっと便利にするために開発された1人乗りの移動機器。歩行と既存の移動機器との間を補完する移動体として将来期待されています。</p> <p>■スマートハウス                      IT（情報技術）の活用により、創エネ機器（太陽光発電など）や蓄エネ機器（蓄電池など）、省エネ機器（省エネ家電など）をコントロールし、エネルギーマネジメントを行うことで、家庭内のエネルギー利用を最適化。</p> <p>■C'walk（座り乗りタイプ 試作機）                      荷物が多い時の移動や歩行に支障がある方の移動をサポートするスタイリッシュな座り乗りモビリティ。                      ⇒視察結果を踏まえて、議会での一般質問や次年度の政策要望に反映して行く</p> <p><b>国におけるカーボンニュートラル・脱炭素の政策の取り組みについて勉強</b></p> <p>5月28日、#1研修会にて浜口誠参議院議員より国の取り組みや施策についての講演受講。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) グリーンイノベーション基金</li> <li>2) 発電分野の脱炭素化への取り組み</li> <li>3) 電動車の普及に向けた取り組み</li> <li>4) 環境モデル都市の取り組みと成果</li> <li>5) 脱炭素化先行地域の取り組み</li> </ol>	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p>  <p style="text-align: center;">〈スマートハウス前@「とよた ecoful town」〉</p>  <p style="text-align: center;">〈スマートハウス内部〉</p>  <p style="text-align: center;">〈C'walk 座り乗りタイプ〉</p>
今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も各定例議会での一般質問や委員会等にて行政側へ進捗状況や課題提起、提案等を実施して行く。（国の取り組みを踏まえ、本市の脱炭素化に向けての活動を加速させる）</li> <li>・令和4年度の会派行政調査にて、CN先進自治体を調査研究して行く。</li> </ul>	